

平成 27 年度の事業計画

2025 年には団塊の世代が 75 歳以上の後期高齢者になり、4 人に 1 人が 75 歳以上という超高齢社会が到来しこの世代が給付を受ける側に回るため、医療、介護、福祉サービスへの需要が高まり、「社会保障のバランスが崩れる」との指摘がされています。

厚生労働省は 2025 年に向け、高齢者の尊厳の保持と自立生活支援の目的のため、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。

今回の介護報酬改定では、中重度の要介護者や認知症高齢者への対応の更なる強化、介護人材確保対策の推進、サービス評価の適正化と効率的なサービス提供体制の構築といった基本的な考え方にに基づき行われています。

国の財政難、介護事業者の経営状況等を踏まえた介護報酬改定率は、全体で▲2.27%（処遇改善等消費税対応分を除くと▲4.48%）という厳しいものであります。

今回の改定を受け、基本報酬の引き下げ部分を補うためあらゆる工夫と柔軟な姿勢で立ち向かっていきます。長年に亘り、積み上げてきた経験を遺憾なく発揮し、今年度の事業計画への取り組みを進めていきます。

平成 27 年度法人目標は「事業推進」「サービスの質の向上」「人材育成」です。

私たちは今年度、既存事業の充実を図りつつ、新規事業を推進し、新たなフィールドで活躍できる人材を確保、育成し、良質なサービスの提供を行ってまいります。

今まで以上に地域貢献の促進に力を入れ、地域コミュニティの一員として職員ひとり一人が、地域での自主的な活動に貢献し「まちづくり」への協力をしていきます。

また、職員が生き生きと満足して働けるように、福利厚生の充実と処遇の見直しを図り、幅広い人材を育成していききたいと思います。

平成 27 年度事業所数（12 事業所）

地域	事業所名称	定員
鳥取県日野地区	特別養護老人ホーム あいご	入所 47 床. ショート 3 床
	デイサービスかじか荘	30 名
	ケアプランセンター日翔会	
	福祉用具販売貸与事業所 あいご	
岡山県新見市	特別養護老人ホーム ゆずり葉	入所 90 床. ショート 10 床
	アルクゆずり葉	20 名
	ケアプランセンターゆずり葉	
	小規模多機能ホームにいざとさくらの丘	25 名（通 15. 泊 9）
	グループホームにいざとさくらの丘	1 ユニット×9 部屋
岡山県真庭市	小規模多機能ホーム菜の花	25 名（通 15. 泊 9）

平成 27 年度職員数	182 名
-------------	-------

平成27年度法人目標

1. 事業推進
 - ・予実管理の徹底
 - ・新規利用者確保
2. サービスの質の向上
 - ・こやまケア推進
 - ・ISO運用の充実
 - ・研修への積極的参加
3. 人材育成
 - ・職員の資格取得推進
 - ・職員の定着率向上
 - ・職員による地域貢献の促進

平成27年度事業所目標及び達成への取組

1. 事業推進
 - ・予実管理の徹底
目標件数の確認
経費の確認 給食材料費 昨年比5%削減
未収金管理 2ヶ月以上の未収金を発生させない
 - ・新規利用者確保
営業活動、体験利用、広報及びPR活動
2. サービスの質の向上
 - ・こやまケア推進
アンケート結果による改善
 - ・ISO運用の充実
書類整備
 - ・研修への積極的な参加
外部研修、内部研修
3. 人材育成
 - ・職員の資格取得推進
介護福祉士、介護支援専門員、初任者、実務者研修
 - ・職員の定着率向上
有休の取得推進、ノー残業、メンタルヘルス、面接
 - ・職員による地域貢献の促進
自主的活動への取り組み

計数目標

- 売上計画 前年度比 119.0%増
- 利益計画 経常利益率 3.4%
- 資金計画 安全性分析（人件費3ヵ月分留保）
- 人員計画 新卒採用（15名）

研 修 計 画

	研修内容	実施月
法人	新入職員研修	4月1日～4日
	日翔会新人フォローアップ研修	7月
	管理者研修	7月
	中途採用者研修	8月・2月
	メンタルヘルス研修	3月
G西エリア	中級リーダー研修	5・6・7・8・9月
	初級リーダー研修	9・10・11・1・2月
	介護技術研修	8月
グループ	新入職員全国研修	4月16.17日
	トップマネジメント研修	6月・10月・2月
	ISO内部監査員養成研修	5月11.12日
	ISO内部監査員養成研修フォローアップ研修	5/18・7/6
	ISO内部監査員養成研修スキルアップ研修	6/1

外部研修参加予定

- | | |
|----------------|-----------------|
| ユニットケア研修 | 介護技術や知識に関する研修 |
| コンプライアンスに関する研修 | 苦情解決に関する研修 |
| 給食の質の向上に関する研修 | リスクマネジメントに関する研修 |
| 労務に関する研修 | 経理に関する研修 |

資格取得に向けて

- | | |
|----------------|-------------|
| 介護福祉士取得支援勉強会 | 9月より |
| 介護支援専門員取得支援勉強会 | 5月より |
| 介護職員初任者研修 | 平成27年5月～12月 |

会議体制

年間を通して、各種の会議で現状の把握や対策改善を行い、法人全体の運営と管理を行って参ります。

会議日程

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本部会議		2	4	2.	7/30	3	2	5	3	5	4	3.24
所長会議	13	11	8	13	10	14	12	9	14	11	8	14
経営会議	27	25	22	27	24	28	26	23	21	25	22	28

事業所事業計画

1. 特別養護老人ホームあいご

平成 2 7 年度事業所目標及び達成への取組

1). 事業推進

・予実管理の徹底

目標：入所されている 47 名のお客様の排泄パターンの確認・見直しを行い、経費削減につなげる。

取組：お客様ひとりひとりの排泄パターン、パットの見直しを 4 月中に行い、その方にあったパットを検討する。5 月の事業所会議にて確認、見直しを行い、以後毎月の事業所会議にて確認し、介護職員室に掲示し職員の意識を高め再検討を行っていく。

目標：お客様の体調管理、早期発見、早期対応を行うことで、入院者数を減らす。

取組：早期発見の為、出勤した職員はお客様の顔色の確認など、一般状態の観察を行っていく。一般状態の観察及び基礎技術の勉強会を開催し、観察の仕方を徹底する。お客様に変化があった際は、小さなことでもすぐ報告できるよう徹底する。

・新規利用者確保

入所

目標：すぐに入って頂ける待機者を 3 名確保する。

取組：月に 1 回、待機者と連絡をとり、情報を把握・確認しておく。

退所後は 1 週間以内に次の入所に繋げる。

短期入所

目標：毎月2名の新規利用者を確保する。

取組：継続的な営業を行う。近隣の事業所へのアプローチを行う。依頼が来たらすぐに対応する。常に空き情報を事業所に発信する。

2). サービスの質の向上

・こやまケア推進

目標：毎月1回あいごピカピカデーを行う。

取組：4月にスケジュールを決め、毎月決められた場所（4月汚物室、5月中庭等）の環境整備をスタッフ全員で行う。1日で出来ない場合は分けて確実にできるように調整しておく。

目標：お客様満足度の向上

取組：お客様やご家族様の希望を聞き取り、行事やプランに反映していく。

昨年のアンケート結果の改善及び、27年度のお客様アンケートを実施する。

・ISO運用の充実

目標：ISOの運用と理解をスタッフ全員で深め取り組む。

取組：奇数月の第3木曜日をチェック日と決めてカルテ、書類等確認する。

ISO内部監査員研修への3名参加する。

内部研修に年2回組み込み、職員への理解を深める。（4月、7月）

・研修への積極的な参加

目標：研修に積極的に参加し、知識、技術、意識の向上をはかり質の高いサービスが提供できる。

取組：外部研修…随時必要な研修については早急に参加者を選出する。

研修参加者は研修後の職員会議にて伝達講習を行う。

：内部研修…研修・勉強会計画参照

3). 人材育成

・職員の資格取得推進

目標：初任者研修、実務者研修受講、介護福祉士、介護支援専門員を取得する事で知識、技術、意識の向上をはかる。

取組：介護福祉士、介護支援専門員の勉強会を開催し資格取得のサポートを行う。

月に2回、対象者を集め、問題集を使用し勉強会を行う。講師は資格取得者が行い、点数の把握もする。介護福祉士を受験する職員には模擬試験を受けてもらう。

・職員の定着率向上

目標：職員の働きやすい環境を作り、定着率を向上させる。

取組：誕生月休暇、リフレッシュ休暇の年2回の有休の実地。

3ヶ月1回、主任、リーダーと職員の3者面談を行い、サポートを行っていく。

（6月、9月、12月、3月予定）

・職員による地域貢献の促進

目標：地域の活動に積極的に職員が参加する事で地域に認められる事業所となる。
 取組：地域の活動に参加した際は、活動報告書に記載し職員の活動とし形に残す。
 ：日野町主催の行事を職員に伝え、参加をすすめる。

研修・勉強会計画

月	研修内容	月	研修内容
4月	法令遵守（倫理、接遇） 一般状態の観察及び基礎技術 I S Oの勉強会	10月	認知症ケアの勉強会 感染予防（想定訓練）
5月	緊急時の対応（想定訓練） ケアプランと記録の勉強会	11月	急性胃腸炎についての勉強会
6月	高齢者の特徴と食事	12月	冬場の脱水症について
7月	I S Oの勉強会 介護技術の勉強会	1月	身体拘束の勉強会
8月	ユニットケアの理解 リスクマネジメントの勉強会 （想定訓練）	2月	リスクマネジメントの勉強会
9月	食中毒についての勉強会	3月	ユニットケアの理解

会議予定

- ・事業所会議 第1火曜日
- ・リーダー会議 第4火曜日
- ・職員会議 第3水曜日
- ・委員会 第3水曜日①、第3金曜日②
- ・ユニットケア検討会議 偶数月第4木曜日
- ・ユニットミーティング 月に1回
- ・カルテチェック 奇数月第4木曜日

行事計画

月	行事内容
4月	花見週間
5月	家族交流会（仮）、あいご祭り
6月	野点、避難訓練
7月	七夕会、根雨祭り
8月	縁日
9月	敬老会
10月	喫茶店・紅葉狩り・いきいきひのふれあい祭り

11月	文化祭、避難訓練
12月	クリスマス会、忘年会
1月	とんどさん・新年会
2月	節分会
3月	ひな祭り会

2. デイサービスかじか荘

平成27年度事業所目標及び達成への取組

1). 事業推進

・ 予実管理の徹底

目標：目標件数をスタッフ全員で把握し達成する。

取組：事業所会議にて目標件数と実績とがわかるグラフを作成し全員で確認する。

：一週間が終わった時、その週の振り返りを夕のミーティングで行い、次週につなげる。(行事の声かけや、他の日との変更等)

：行事には利用追加の声掛け行い30名を目指す。

(事業所行事)

月	行事内容	月	行事内容
4月	花まつり 新庄村お花見ツアー	10月	秋の運動会 芋掘り
5月	鯉のぼり運動会(地域交流) かじか農園	11月	スポーツ大会 演芸大会(センター)
6月	野点 笹巻き	12月	クリスマス会 忘年会
7月	七夕会 流しソーメン	1月	新年会 保育所交流会
8月	納涼祭 喫茶かじか	2月	節分会 喫茶かじか
9月	敬老会 花回廊ツアー	3月	ひな祭り お客様感謝デイ

目標：光熱水費の削減

取組：電灯を使わない時は、こまめに消す。

：部屋の湿度、温度に気をくばる。

・ 新規利用者確保

目標：月2名の新規獲得

取組：月1回の居宅への営業(空き情報・行事チラシ)と無料体験チラシを日野地域

へ配布を行う

2). サービスの質の向上

・こやまケア推進

目標：1日を楽しく過ごしていただける場の提供

取組：施設評価、お客様アンケートの実施

：ご家族様が参加できる行事を企画し実施する(8月、3月)

：個別ケアの充実・・・選べるカルチャーの充実(種類を増やす)

：行事を決める会を実施、お客様の希望を聞き行事に反映する

：お客様の誕生日には本人の要望を実施する。

：嗜好調査の実施(年2回)

：厨房職員の関わりをもつ(クッキング、リクエストメニュー、セレクト、ハイキング)

：環境整備・・・センター美化委員会と共に計画的に施設内外清掃をおこなう

・ISO運用の充実

目標：ISO既存事業所の継続

取組：ISO帳票運用の継続

：通所委員会にて帳票の水平展開をおこなう

・研修への積極的な参加

目標：職員の力量アップの為研修に参加する

取組：センター内研修・介護技術勉強会の参加

：県社協等主催の外部研修に参加を促しスキルアップをめざす

：認知症実践者研修 1名

：実務者研修 1名

3). 人材育成

・職員の資格取得推進

目標：介護支援専門員・認知症実践者研修・実務者研修に参加資格を取得する

取組：介護支援専門員資格取得勉強会(3名)

・職員の定着率向上

目標：働きやすい職場づくり

取組：ノー残業デイの実施

：職員親睦会の開催(年3回)

：誕生日休暇の推進

：法人が行っている資格取得の研修への参加

：日翔会ソフトバレーボール大会参加し親睦を図る

：面接の実施(年2回)

・職員による地域貢献の促進

目標：地域へデイサービスを知っていただく

取組：日野高校初任者研修の受け入れ

：保育所交流会の継続

- : 自地域での奉仕作業や研修会・避難訓練に参加
- : 生きいきひの、根雨祭り、解放文化祭の参加
- : 日野病院・日野町包括との意見交換会参加
- : ボランティアの受け入れ

研修・勉強会計画

センター内研修 毎月第3木曜日

月	研修内容	月	研修内容
4月	接遇マナー	10月	認知症について
5月	法令遵守・個人情報保護法	11月	感染症・感染症予防について
6月	介護保険制度について	12月	身体拘束について
7月	苦情対応について	1月	リスクマネジメントについて
8月	緊急時の対応	2月	介護技術1
9月	離荘事故発生時の対応について	3月	介護技術2

会議予定

- ・職員会議
センター会議 第2火曜日
ホーム・ケア・ミーティング 第3木曜日
- ・経営会議 月1回
- ・事業所会議 第1金曜日
- ・委員会 通所委員会 月1回

3. ケアプランセンター日翔会

平成27年度事業所目標及び達成への取組

1). 事業推進

- ・予実管理の徹底
目標：目標件数をスタッフ全員で把握し達成する。
取組：事業所会議で実働状況の把握を行う。
連携の維持、迅速な対応を継続していく。
- ・新規利用者確保
目標：顔の見える関係維持、受け入れ態勢を整備する。
取組：携帯電話等の活用による業務の短縮を図る。
対応件数の把握、受け入れ態勢の整備を行う。

2). サービスの質の向上

- ・こやまケア推進
目標：ケアプランの個別化の強化を図る。

取組：各事業所からの個別プラン、モニタリング等の確実な収集。

・ I S O 運用の充実

目標： I S O 既存事業所を継続していく。

取組：作成した書式の運用、随時見直しの実施を行う。

・ 研修への積極的な参加

目標：外部研修、内部研修への参加を続けていく。

取組：各地域ケア会議、日野郡地域リハ会議等へ参加していく。

月 1 回の勉強会参加し、不参加者へは翌日伝達研修を行う。

3). 人材育成

・ 職員の資格取得推進

目標：介護支援専門員研修等へ参加し、スキルアップを図る。

取組：介護支援専門員更新研修参加する。(2名予定)

週 1 回スキルアップミーティングを継続開催する。

・ 職員の定着率向上

目標：職員の負担軽減を目指していく。

取組：誕生月等に合わせて、有休を利用していく。

精神的ダメージの回避、担当外でも対応できる様情報共有を継続していく。

・ 職員による地域貢献の促進

目標：地域活性のための取り組みを行う。

取組：役場等と連携を図り、地域活性のため相談していく。

日野町主催地域活動への参加をする。(クリーン作戦、防災訓練、いきいきひのふれあいまつり)

研修・勉強会計画

月	研修内容	月	研修内容
4月	接遇マナー	10月	認知症について
5月	法令遵守・個人情報保護法	11月	感染症・感染症予防について
6月	介護保険制度について	12月	身体拘束について
7月	苦情対応について	1月	リスクマネジメントについて
8月	緊急時の対応	2月	ケアマネジメントについて1
9月	離荘事故発生時の対応について	3月	ケアマネジメントについて2

会議予定

- ・ 経営会議 (毎月第4月曜日)
- ・ センター会議 (毎月第2火曜日)
- ・ ホームケアミーティング (毎月第3木曜日)
- ・ 事業所会議 (毎月5日前後)
- ・ ケアマネ委員会 (毎月第1木曜日)

4. グループホームにいざとさくらの丘

平成27年度事業所目標及び達成への取組

1). 事業推進

- ・予実管理の徹底

- 目標：売上目標の達成

- 取組：1週間ごとに件数及び平均介護度と予算計画との差異を確認し、それに応じたアクションプランの実施。

- 毎月3日以上の上院者を出さないように、体調管理及び状態変化の早期発見を行う。

- ・新規利用者確保

- 目標：即入居待機者を2名確保する

- 取組：第1週と3週目に病院、居宅介護支援事業所、包括支援センターに営業に行く。新見相談員連絡会及び神郷地域ケア会議への参加。

- 1ヶ月に1回の待機者情報の整理

2). サービスの質の向上

- ・こやまケア推進

- 目標：文化活動を通じた楽しみの提供

- 居心地の良い環境づくり

- 取組：クラブ活動の充実を図る。

- 毎月環境に関するテーマを決めて取り組みを実施。

- 年間清掃計画を立てる。接遇研修の実施。

- ・ISO運用の充実

- 目標：継続的な品質改善

- 取組：見直しを含めた書類の整備とミーティングでの業務及びマニュアル改善を行い、改善プロセスを回す。

- ・研修への積極的な参加

- 目標：計画的な研修参加により、職員のスキルアップを目指す

- 取組：外部研修の情報提供と教育訓練計画の運用を行い、職員の参加を促す

3). 人材育成

- ・職員の資格取得推進

- 目標：介護支援専門(1名)介護福祉士(1名)実務者研修(2名)

- 取組：外部機関主催の講習会に参加する。

- ・職員の定着率向上

- 目標：親睦会の開催

- 職場説明会の実施(採用)

- 取組：年3回の親睦会を実施する。(4月・8月・12月)

新見エリアで職場説明会を企画実施する。(6月、10月、2月)

- ・職員による地域貢献の促進

目標：公益性のある行事企画の提案

取組：ボランティア、家族、地域の方の参加ができる企画をたてる。地域行事への参加。

5. 小規模多機能ホームにいざとさくらの丘

平成27年度事業所目標及び達成への取組

1). 事業推進

- ・予実管理の徹底

目標：売上目標の達成

取組：1週間ごとに件数及び介護度と予算計画との差異を確認し、それに応じたアクションプランの実施。

- ・新規利用者確保

目標：待機者を2名確保する(泊り中心型と通い中心型を1名ずつ)

取組：第1週と3週目に営業に行く。新見相談員連絡会及び神郷地域ケア会議への参加。

2). サービスの質の向上

- ・こやまケア推進

目標：文化活動を通じた楽しみの提供

居心地の良い環境づくり

取組：クラブ活動の充実を図る。

毎月環境に関するテーマを決めて取り組みを実施。

年間清掃計画を立てる。接遇研修の実施。

- ・ISO運用の充実

目標：継続的な品質改善

取組：見直しを含めた書類の整備とミーティングでの業務及びマニュアル改善を行い、改善プロセスを回す。

- ・研修への積極的な参加

目標：計画的な研修参加により、職員のスキルアップを目指す

取組：外部研修の情報提供と教育訓練計画の運用を行い、職員の参加を促す。

3). 人材育成

- ・職員の資格取得推進

目標：介護支援専門(1名)介護福祉士(1名)

実務者研修(1名)初任者研修(2名)

取組：外部機関主催の講習会に参加する。

- ・職員の定着率向上

目標：親睦会の開催

職場説明会の実施(採用)

取組：年3回の親睦会を実施する。(4月・8月・12月)

新見エリアで職場説明会を企画実施する。(6月、10月、2月)

- ・職員による地域貢献の促進

目標：公益性のある行事企画の提案

取組：ボランティア、家族、地域の方の参加ができる企画をたてる。地域行事への参加

研修・勉強会計画

新見勉強会(おいでんせえ合同) 毎月第1・4木曜日 18:00～

月	研修内容	月	研修内容
4月	救命救急講習	10月	高齢者に多い疾患と薬の知識
5月	法令遵守(運営に関する基準等)	11月	感染症対策
6月	リスクマネジメント	12月	身体拘束・虐待防止
7月	認知症ケア	1月	介護技術(食事)
8月	介護技術(排泄)	2月	個人情報保護
9月	苦情対応について	3月	介護技術(移動・移乗)

・さくらの丘勉強会 毎月テーマを決めて、職員会議後開催。

会議予定

- ・経営会議 毎月第4月曜日
- ・所長会議 毎月第2月曜日
- ・事業所会議 毎月第1金曜日
- ・相談員連絡会 毎月第3火曜日
- ・職員会議 毎月第3水曜日
- ・小規模カンファレンス 毎月第2・4木曜日
- ・運営推進会議 2ヶ月に1回 第3木曜日

6. 小規模多機能ホーム菜の花

平成27年度事業所目標及び達成への取組

1). 事業推進

- ・予実管理の徹底

目標：目標件数より実績を上げる

目標件数をスタッフ全員で把握し達成する。

取組：毎月の全体会議にて目標件数、実績を報告し職員全員で共有していきます。

お客様の健康管理を行い早期発見、早期受診を行い入院をなくし登録解除に繋げないようにして行きます。

利用申し込み、相談があれば即対応を行います。

- ・新規利用者確保

目標：待機者の確保

取組：蒜山地域ケアスタッフ会議参加し情報交換を行います。(居宅、地域包括、真

庭市社協、真庭市との情報交換を行い空き情報を伝える)

毎月第3週目には菜の花新聞を持って営業を行います。(病院、社協)

2). サービスの質の向上

・こやまケア推進

目標：お客様満足度の向上

取組：施設間評価、お客様アンケートを行います。

年間行事計画に沿っての実施します。

クラブ活動の充実(習字クラブ第2週水曜日1回、お楽しみクッキング月2回、生け花2ヵ月に1回)

嗜好調査の実施(4月、7月、10月、3月お客様の希望を献立、お楽しみクッキングにて取り組む)

おもてなし活動継続実施(四季を通じた装飾)

家族会を開催し情報交換を行い信頼関係を築きます(行事と組み合わせ年2回)

菜の花夏祭り(8月29日)

年2回大掃除(ワックスかけ)

・ISO運用の充実

目標：ISO運用の周知と理解を図る

取組：内部監査員の育成

運用の確認(毎月の会議の中で帳票類、運用の確認を行う)

サービス委員会にて水平展開を行う

・研修への積極的な参加

目標：法人内、事業所内、外部研修に参加し職員のスキルアップを図る

取組：真庭市からの研修の情報を得て研修に参加できる体制をとります

事業所内での年間計画を立て職員が講師となり勉強会を実施する

ISO内部監査員の研修に参加する(1名)

3). 人材育成

・職員の資格取得推進

目標：介護福祉士1名 介護支援専門員1名 リーダーの育成

取組：資格取得に向けて模擬試験、有資格者による勉強会を行う

リーダーの育成

・職員の定着率向上

目標：働きやすい環境を作る

取組：日翔会球技大会への参加

職員親睦会の開催(年2回)

業務改革(ミーティングにて職員の意見を聞き見直しを行う)

・職員による地域貢献の促進

目標：地域のと連携し地域行事に参加し地域に貢献をする

取組：地域清掃活動、地域サロンへの参加

インターシップの受け入れ（高校生1年生、7月9日～7月16日）

（2年生、5月～11月毎月曜日を決めて1日受け入れ。10回予定）

夏ボラの受け入れ（社協主催）

真庭市蒜山地域福祉運動会（10月地域の実行委員としても参加）

地域秋祭りの参加（10月26日）

蒜山文化祭（11月お客様作品展示、演芸の部参加）

研修・勉強会計画

月	研修内容	月	研修内容
4月	接遇・電話対応について	10月	緊急時の対応について
5月	法令遵守・個人情報保護法	11月	認知症について・防災訓練
6月	苦情対応について・防災訓練	12月	身体拘束、虐待について
7月	救急救命講習（消防署依頼）	1月	高齢に多い疾患（薬について）
8月	リスクマネジメント（離荘）	2月	介護技術（移乗・移動）
9月	感染対策について	3月	介護技術（口腔ケア）

会議予定

・職員会議

第1金曜日（カンファレンスを含む）

第3金曜日（カンファレンス、勉強会）

・事業所会議

・委員会

こやまケア委員会 第1水曜日（13：00～13：40）

事故苦情委員会 第1水曜日（13：00～13：40）

行事、広報委員会 第1水曜日（13：00～13：40）

7. 特別養護老人ホームゆずり葉

平成27年度事業所目標及び達成への取組

1. 事業推進

・予実管理の徹底

目標：入所ベッドの稼働率を96%以上にする。

取組：入院日数を100日以下にする。

：誤嚥性肺炎を減らすために口腔ケアの技術向上の勉強会を年3回行う。

転倒による入院を減らすために介護技術及びリスクマネジメントの研修会を年5回行う。

：早期退院が出来るように病院との連携を強化する。

：入退所の手続きを円滑に行い、空床を3日以下にする。

: 即入所出来る待機者を随時3名以上確保する。

: 長期入院者の状態を定期的に確認する。

目標: 短期入所生活介護の稼働率を月100%にする。

: 誤嚥性肺炎を減らすために口腔ケアの技術向上の勉強会を年3回行う。

: 転倒による入院を減らすために介護技術及びリスクマネジメントの研修会を年4回行う。

・新規利用者確保

目標: 短期入所の新規のお客様を月2名以上確保する。

取組: 短期入所の様子をチラシにして月1回居宅事業所を回る。

2). サービスの質の向上

・こやまケア推進

目標: 職員の気づきを増やしアクシデント0を目指します。

取組: セーフティシートを毎週一人1枚以上提出してもらう。

: 技術や知識の向上のための研修会を月2回実施します。

目標: 決められたルールを守り確実に出来るようにする。

取組: 食事、排泄、入浴などのルールをリーダー以上で見直しをして、実施してもらい確認していく。

目標: お客様に満足して頂くために、ケアの質の向上をします。

取組: 清潔な環境で過ごしてもらう為に、毎月環境整備の計画を立てて掃除を行います。

: 接遇及びマナーについての研修会を年2回実施します。

: 家族会の開催をする(年2回; 8月、2月)

: ご家族様へ月1回お手紙を郵送しお客様の近況報告をします。

: 毎月第1週は挨拶週間とし、班長以上が、気持ちの良い挨拶をした職員に投票し月間MVPとして表彰します。

・ISO運用の充実

目標: ISO新規認証取得

取組: 内部監査員資格取得 5名

(内田リーダー、山根リーダー、山本敏行、大岩弘典、戸村瞳)

: 月1回(第2木曜日14:00~15:00) ISO委員会開催

委員(施設長、係長、生活相談員、フロアリーダー、看護師、管理栄養士)

活動内容; 書類の整備、書類使用状況の確認、内部監査へ参加

: 内部監査の実施

・研修への積極的な参加

目標: 施設内研修の充実

取組: 従来勉強会に加え演習を取り入れた研修を増やす

<毎月2回; 第3木・金曜日18:00~19:00>

: 外部研修の参加促進; 個人目標に参加したい研修内容を書く

: 施設は、以下の内容の外部研修を職員に紹介する
(食事介助、排泄介助、レクリエーション、コミュニケーション技術、口腔ケア、嚥下、認知症ケア)

3). 人材育成

・職員の資格取得推進

目標：職員の資格取得を推進します。

介護支援専門員 10名

初任者研修 12名

実務者研修 14名

認定特定行為業務従事者研修 3名 (戸村班長、瀧口美和、山川琴美)

ユニットケア管理者研修 1名 (大塚)

ユニットリーダー研修 2名 (榎リーダー、山本倫弘班長)

介護福祉士実習指導者講習 2名 (内田リーダー、大岩班長)

取組：事業所内での勉強会を毎月第1週の木曜日に行います。

・職員の定着率向上

目標：働きやすい職場作りを目指します。

取組：誕生月有給休暇取得

: 職員全員との面接(年3回; 5月、9月、2月)

: 親睦会の開催

4月/歓迎会、9月/ゆずり葉祭り慰労会、12月/忘年会

・職員による地域貢献の促進

目標：施設及び職員として地域貢献に努めます。

取組：

施設

土下座まつり協力

にのみ雛まつり協力

御殿町七夕祭り参加

新見ふるさとまつり参加

ゆずり葉1周年感謝祭(7月)

ゆずり葉祭り開催(9月)

職員

地区清掃活動参加

地区クラブ活動参加

ボランティア活動参加

自治消防団へ参加

研修会講師

地区防災訓練参加

P T A役員

8. アルクゆずり葉

平成27年度事業所目標及び達成への取組

1). 事業推進

・予実管理の徹底

目標：稼働率を85%以上にする。

取組：プラン数からの減を5%以内にする。

: 振り替え利用を促進する。

: 誤嚥性肺炎を減らすために口腔ケアの技術向上の勉強会を年3回行う。

: 転倒事故を減らすために介護技術及びリスクマネジメントの研修会を年5回行う。

・新規利用者確保

目標：新規のお客様を月4名以上確保する。

取組：アルクゆずり葉の様子をチラシにして月2回（毎月1日、15日）居宅事業所を回る。

2). サービスの質の向上

・こやまケア推進

目標：職員の気づきを増やしアクシデント0を目指します。

取組：セーフティシートを毎週一人1枚以上提出してもらう。

: 技術や知識の向上のための研修会を月2回実施します。

目標：決められたルールを守り確実に出来るようにする。

取組：食事、排泄、入浴などのルールをリーダー以上で見直しをして、実施してもらい確認していく。

目標：お客様に満足して頂くために、ケアの質の向上をします。

取組：清潔な環境で過ごしてもらう為に、毎月環境整備の計画を立てて掃除を行います。

: 接遇及びマナーについての研修会を年2回実施します。

: 家族会の開催をする（年2回；8月、2月）

: ご家族様へ月1回お手紙を郵送しお客様の近況報告をします。

: 毎月第1週は挨拶週間とし、班長以上が、気持ちの良い挨拶をした職員に投票し月間MVPとして表彰します。

・ISO運用の充実

目標：ISO新規認証取得

取組：月1回（第2木曜日14：00～15：00）ISO委員会開催

委員（施設長、係長、生活相談員、フロアリーダー、看護師、管理栄養士）

: 活動内容・・・書類の整備、書類使用状況の確認、内部監査へ参加

: 内部監査の実施

・研修への積極的な参加

目標：施設内研修の充実

取組：従来の勉強会に加え演習を取り入れた研修を増やす

<毎月2回；第3木・金曜日18：00～19：00>

: 外部研修の参加促進；個人目標に参加したい研修内容を書く

: 施設は、以下の内容の外部研修を職員に紹介する

（食事介助、排泄介助、レクリエーション、コミュニケーション技術、口腔ケア、嚥下、認知症ケア）

3). 人材育成

・職員の資格取得推進

目標：職員の資格取得を推進します。

介護福祉士 1名

取組：・事業所内での勉強会を毎月第1週の木曜日に行います

・職員の定着率向上

目標：働きやすい職場作りを目指します。

取組：誕生月有給休暇取得

：職員との面接(年3回；5月、9月、2月)

：親睦会の開催

4月/歓迎会、9月/ゆずり葉祭り慰労会、12月/忘年会

・職員による地域貢献の促進

目標：施設及び職員として地域貢献に努めます。

取組：

施設

土下座まつり協力

にいみ雛まつり協力

御殿町七夕祭り参加

新見ふるさとまつり参加

ゆずり葉1周年感謝祭(7月)

ゆずり葉祭り開催(9月)

職員

地区清掃活動参加

地区クラブ活動参加

ボランティア活動参加

自治消防団へ参加

研修会講師

地区防災訓練参加

P T A役員

研修・勉強会計画

勉強会(毎月第4木曜日 18:30~19:00)

月	研修内容	月	研修内容
4月	法令遵守・個人情報保護について	10月	認知症について
5月	感染症及び食中毒予防及びまん延防止のための勉強会	11月	感染症及び食中毒予防及びまん延防止のための勉強会
6月	身体拘束廃止について	12月	褥瘡予防について
7月	接遇及びマナーについて	1月	接遇及びマナーについて
8月	高齢者の人権擁護、虐待防止について	2月	介護保険について
9月	プライバシー保護について	3月	年度末ふりかえりテスト

介護技術研修会(毎月2回；第3木・金曜日18:00~19:00)

月	研修内容	月	研修内容
4月	口腔ケア技術	10月	移動・移乗介助技術
5月	リスクマネジメント演習	11月	リスクマネジメント演習
6月	緊急時の対応について	12月	ポジショニング技術

7月	排泄介助技術	1月	緊急時の対応について
8月	食事介助技術	2月	口腔ケア技術
9月	口腔ケア技術	3月	リスクマネジメント演習

会議予定

- ・職員会議 毎月第4木曜日 18:00～18:30
- ・事業所会議 毎月第2火曜日 14:00～15:00
- ・班長会議 毎月第3火曜日 13:30～14:00
- ・委員会 毎月第4木曜日
 - ・事故苦情防止委員会
 - ・研修委員会
 - ・感染対策委員会
 - ・行事レク委員会
 - ・広報委員会
 - ・食事委員会
 - ・こやまケア推進委員会
 - ・美化リネン環境委員会
 - ・身体拘束虐待廃止委員会

9. ケアプランセンターゆずり葉

平成27年度事業所目標及び達成への取組

1). 事業推進

- ・予実管理の徹底
 - 目標：毎月の目標件数を100%達成する。
 - 取組：新規利用者確保はもちろんだが、依頼をいただいてもすぐにはサービス利用をされない方、入院されている方、サービス利用を休まれている方についても訪問を月1回は行っていく。
 - ：訪問表を作成し、滞ることがないようにしていく。
- ・新規利用者確保
 - 目標：毎月3件以上の依頼をいただけるようにする。
 - 取組：書類の提出等で包括支援センターを訪ねた際には（月1回以上）、空きがある旨伝えていく。また、病院訪問の際にも相談員と面会し、声をかけていく。また、包括支援センターからの紹介でアルクゆずり葉体験利用のお客様のケアプラン作成依頼をいただけるように、ご本人や包括支援センターに働きかけをする。

2). サービスの質の向上

- ・こやまケア推進
 - 目標：お客様、サービス事業所等からの苦情を0にする。
 - 取組：お客様に寄り添う丁寧な対応に心がけ、訪問等を積極的に行っていく。
 - ：サービス事業所や包括支援センター等との情報提供や連絡はきちんと行っていく。
- ・ISO運用の充実
 - 目標：ISO帳票運用は確実にっていく。
 - 取組：ケアマネ委員会との連携で、間違いのないように確実に運用を行っていく。
- ・研修への積極的な参加

目標：特養ゆずり葉施設内研修への毎回参加と外部研修へ参加をしていく。
 取組：岡山県介護支援専門員協会主催の研修情報をホームページで確認する。
 また、新見支部の月1回の研修と随時開催される新見地域ネットワーク研修に参加する。

3). 人材育成

・職員の資格取得推進

目標：ケアマネ2名体制を目指し、地域で信頼されるケアマネ事業所となる。
 取組：積極的な情報収集や勧誘を行っていく。
 ：該当者ならば主任ケアマネ研修受講する。
 ：該当者でなくても外部研修には積極的に参加する。

・職員の定着率向上

目標：働きやすい環境を作る。
 取組：誕生月有給休暇の取得や特養ゆずり葉親睦会への参加をする。

・職員による地域貢献の促進

目標：地域の活動に積極的に参加し、地域に認められる事業所となる。
 取組：特養ゆずり葉と一緒に地域の祭り等に協力する。
 ：地域のボランティア活動参加を継続する。

研修・勉強会計画

月	研修内容	月	研修内容
4月	・法令遵守・個人情報保護について	10月	・市ケアマネ協研修 ・認知症について
5月	・市ケアマネ協研修 ・感染症及び食中毒予防、及びまん延防止のための勉強会	11月	・市ケアマネ協研修 ・感染症及び食中毒予防、及びまん延防止のための勉強会
6月	・市ケアマネ協研修 ・身体拘束廃止について	12月	・市ケアマネ協研修 ・褥瘡予防について
7月	・市ケアマネ協研修 ・接遇及びマナーについて	1月	・市ケアマネ協研修 ・接遇及びマナーについて
8月	・市ケアマネ協研修 ・高齢者の人権擁護、虐待防止について	2月	・市ケアマネ協研修 ・介護保険について
9月	・市ケアマネ協研修 ・プライバシー保護について	3月	・市ケアマネ協研修 ・年度末ふりかえりテスト

会議予定

- ・経営会議 毎月第4月曜日 10:00～
- ・職員会議 毎月第4木曜日 18:00～18:30

- ・事業所会議 毎月第2火曜日 14:00～15:00
- ・委員会 毎月第4木曜日 14:00～14:30

10. 福祉用具販売貸与事業所あいご

平成27年度事業所目標及び達成への取組

1). 事業推進

- ・予実管理の徹底

目標：在庫管理の徹底

取組：発注方式の見直しを行う。

現状としてオムツが過剰在庫となっている事により、管理するスペース・時間が必要な状況となっている。ケースでの発注方式を見直し単品での仕入を行う事や、在庫管理表を基に需要予測を立て在庫管理を行っていきます。

- ・新規利用者確保

目標：販売品仕入先増加

取組：27年度にて仕入先を2社の追加する。販売品の仕入先を増加することにより、仕入価格の比較が可能となり、低価格やタイムラグの短縮等の最も良い条件で発注が可能となります。これにより、施設向けの販売品を従来よりも強くPRする事が可能となり、販売先を新たに開拓する事が出来る。

目標：介護保険外レンタルの商品見直し

取組：自費ベッドの価格見直しを行う。

競合先の価格に比べ価格が高い事や法改正に伴う自己負担増を視野に入れた場合に、介護保険レンタルの新規利用者を獲得していく事が困難な状況が考えられます。その為に、新たな自費価格設定を行い、新規利用者を確保していきます。

2). サービスの質の向上

- ・こやまケア推進

目標：ケアプラン・モニタリングの自主点検

取組：自主点検を年4回行い、作成状況の確認と共に選定内容を見直し、サービスの質の向上に努める。

- ・ISO運用の充実

目標：ISO認証

取組：ISO認証に向け書類作成・整理を行う。

- ・研修への積極的な参加

目標：研修へ参加し技術力の向上を図る。

取組：ポジショニング・褥瘡の研修会へ参加（日本褥瘡学会・株式会社ケーブ 等）

3). 人材育成

- ・職員の資格取得推進

目標：「福祉用具専門相談員」・「オムツフィッター2級」の資格取得

取組：27年度にて受講し各1名の取得を目指す。

・職員の定着率向上

目標：職員の働きやすい環境作る

取組：職員への面談・職員親睦の実施

・職員による地域貢献の促進

目標：福祉用具の点検

取組：各個人の住まいがある地域の自治会にある福祉用具の点検を行い安全管理を行う。

研修・勉強会計画

月	研修内容	月	研修内容
4月	総合福祉展バリアフリー2015	10月	第42回国際福祉機器展 H.C.R.2015
5月	新製品の動向に関して	11月	新製品の動向に関して
6月	褥瘡勉強会	12月	床ずれ防止用具勉強会
7月	褥瘡勉強会	1月	床ずれ防止用具勉強会
8月	シーティング勉強会	2月	ポジショニング勉強会
9月	シーティング勉強会	3月	ポジショニング勉強会

会議予定

- ・事業所会議（第3水曜日）